

町田市民病院

クォーターリー

vol.67



特集

看護の スペシャリストたち

～町田市民病院の認定看護師～

トピックス

- 市民公開講座を開催しました
- 先発医薬品の自己負担について
- 管理栄養士おすすめ「簡単レシピ」
- 「まちだみんなの青空レストラン」利用者アンケートを実施しました

<https://machida-city-hospital-tokyo.jp/>

特集 看護のスペシャリストたち ～町田市民病院の認定看護師～

認定看護師とは

ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有する者として、日本看護協会の認定を受けた看護師を「認定看護師」といいます。

豊富な知識と経験を持ち、当院の第一線で活躍する、15名の認定看護師をご紹介します。

#1 クリティカルケア認定看護師(集中ケア)

Intensive Care

治療効果が最短期間で最大限に発揮できるように、 患者さんのコンディションを整える

集中治療に限ることではありませんが、治療効果が最短期間で最大限に発揮できるように患者さんのコンディションを整えることは、看護師の大きな役目であると考えます。集中治療が必要となる患者さんは重症であり、よりタイムリーに適切な介入も必要となります。突然の病気やケガに対する不安を和らげ、急性期から社会復帰を見据えたケアを大切にしています。患者さんが発信する心身のサインを丁寧に受け止め、RSTやNST、RRTなどのチーム活動を通して多職種と協力しながら最善のケアの実現に向けて日々努力しています。



#2 クリティカルケア認定看護師(救急看護)

Emergency Nursing

救急医療の現場で、 患者さん・ご家族が満足できるチーム医療を展開

突然の発病や、慢性疾患の急な増悪は、患者さんやご家族、支援者にとって予期しえない困難な状況です。そこには地域属性や生活背景に考慮した看護展開が必要となります。生命の危機的状況にある患者さんの緊急度と重症度を瞬時に判断し、予測性をもった看護実践を行っています。患者さんに限らず、ご家族の支援にも力を入れています。救急医療の現場で、患者さん・ご家族が満足できるチーム医療を展開し、地域で安心した生活を送るための救急看護を実践しています。



一人の患者さんを生活者として捉え、 社会復帰や在宅医療を見据えた継続的な看護ができるように

疾患や発達段階を問わず、救急看護の対象は様々な状況下で突発的に発生し、限られた情報の中、迅速で適切な判断と対応が求められます。顕在化している急性症状だけでなく、身体内部で起きている徴候を捉え、重症化を回避することが必要です。また、救急初療・集中治療の急性期から一人の患者さんを生活者として捉え、社会復帰や在宅医療を見据えた継続的な看護ができるように努めています。多職種との連携を図り、多角的でより質の高い看護実践を目指します。



当院ホームページ（看護部サイト）では、一部の認定看護師へのインタビューも公開しています。
ぜひご覧ください。

<https://www.nurse-machida.jp/message/certified-nurse/>



3 認知症看護認定看護師

Dementia Nursing

生活環境を知り、生活リズムを整え、 患者さんが安心して療養できる環境を目指して

入院の患者さんは高齢の方が多く、健康状態の悪化や治療のストレス以外に、入院という環境の変化によるストレスや不安も抱えています。そのような患者さんに、認知症看護認定看護師として、生活環境を知り、生活リズムを整え、患者さんが安心して療養できる環境の提供を目指して、看護を実践しています。また、医師や薬剤師など多職種で介入する認知症ケアチームに参加し、病棟看護師の認知症対応力とケアの質の向上が図れるように、病棟ラウンドも実践しています。



よりそい、時には思いを代弁できる 心のこもった看護を

認知症看護は、病気や環境変化に伴う混乱を最小限にし、入院前の住まいに早期退院でることが目標です。患者さんの認知機能が低下していると、通院や入院の契機となった病気を理解することが困難な場合があります。特に入院は、住み慣れた場所とは環境が変わり、混乱される方が多く見受けられます。そこで、認知症看護認定看護師として、患者さんが安心して医療を受けられるよう、よりそい、時には思いを代弁できる心のこもった看護を行っています。



認知症の患者さんが穏やかに過ごすことができるような 関わり方やケア方法を

認知症の患者さんは、環境の変化にとっても敏感です。生活背景、身体機能、疾患などにより症状や心理状態も異なるため、その方の状況に応じた看護が求められます。各部署からの相談を受けながら、認知症の患者さんが穏やかに過ごすことができるような関わり方やケア方法を一緒に考え、継続できるよう努めていきたいです。



4 緩和ケア認定看護師

Palliative Care

患者さんの「生きる力」を最大限に引き出し、 がんと共に生きる患者さんの生活や人生を輝かせられるよう

緩和ケアは、診断時から始まる「自分らしく豊かに生きる」ための基本的な医療です。診断、治療、そして人生を完結させるその時まで、どのような場面でも最大限のケアを尽くします。心身のつらさを和らげるだけではなく、「どこで、どう過ごし、どんな治療を受けたいか」という願いを形にする意思決定支援を大切にしています。「生きる力に働きかける看護」を胸に、皆様一人ひとりの人生が輝くようサポートしてまいります。



病棟が患者さんの「もうひとつの家」となれるよう、 チームアプローチ

日常生活で突然、病になり病と闘うご家族や身近な支援者にとって、住み慣れた地域で安心して過ごすことは多くの人の願いです。現在、緩和ケア病棟に所属し、病棟が患者さんの「もうひとつの家」となれるよう、チームアプローチに取り組み、患者さんの心と身体辛さが和らぎ、笑顔が見られることにやりがいを感じています。認定看護師として、増加する老々介護や独居などの社会問題をふまえ、地域と連携し、より「その人の生きる」を支援することを目指しています。



5 手術看護認定看護師

Perioperative Nursing

全ての手術に対して 患者さんに安全・安心な手術看護

手術を受ける方は「怖い」「心配」などマイナスなイメージを持つ方が多いと思います。手術看護認定看護師はその心配や不安を少しでも軽減できるよう活動しています。当院は10の診療科が乳児から高齢者まで幅広い手術を行っていますが、全ての手術に対して患者さんに安全・安心な手術看護が提供できる様、スタッフ一同取り組んでいます。また、術後疼痛管理チームの一員とし、手術後の傷の痛みを最小限に出来るよう他職種と協働し活動しています。

日々進化する医療・手術に対応し、 患者さんへの手術侵襲を最小限とすることができるように

当院では、乳児から100歳近い患者さんまでの様々な手術の患者さんを受け入れています。手術という非日常的な出来事に患者さんは、多くの不安を抱えています。そのような手術の患者さんとそのご家族が術前・術中・術後を通して安心・安全に手術を受けることができ、その不安を少しでも軽くすることができるように、看護を実践しています。さらに、日々進化する医療・手術に対応し、患者さんへの手術侵襲を最小限とすることができるように活動しています。



6 糖尿病看護認定看護師

Diabetes Nursing

誰もが気兼ねなく 糖尿病について話が出来る存在でありたい

糖尿病看護認定看護師の役割は、日常生活の中で悩みながらも糖尿病と向き合い生きる人に寄りそうことです。看護外来でフットケアや糖尿病の療養相談を行う他、入院中の糖尿病の患者さんの困りごとや悩みに対応しています。新しい血糖測定器やインスリンポンプなど、機器の扱い方の支援もしています。医療関係者に対しては学習会を開催するなど、患者さんへの援助方法の相談に応じます。誰もが気兼ねなく糖尿病について話が出来る存在でありたいです。

患者さんを「糖尿病と共に生活する人」と捉え、 その人らしく健やかな人生を送ることが出来るように

糖尿病教育・治療で入院した患者さんの療養支援や、スタッフからの療養相談への介入、看護外来ではフットケアも実施しています。糖尿病は合併症の出現やその重症化予防のために、患者さん自身やご家族が主体となって生涯にわたる自己管理が必要な疾患です。そのためにも患者さんを「糖尿病と共に生活する人」と捉え、その人らしく健やかな人生を送ることが出来るように他職種と連携し、院内の糖尿病チームで療養支援を行っています。



7 がん薬物療法看護認定看護師

Cancer Chemotherapy and Immunotherapy Nursing

自分らしい生活を送りながら通院して受けられる 新しい薬や治療法について学び続ける

がん薬物療法に使用される薬の開発が進み、自分らしい生活を送りながら通院して受けられる治療法が増えました。新しい薬や治療法について学び続けるとともに、患者さんの意思決定を支え、心身の苦痛を緩和しながら、最大限の治療効果が得られるよう、安全な投与管理と症状のマネジメント、セルフケア支援など、患者さんに寄り添いながら治療期を支えていきたいと思っています。



8 感染管理認定看護師

Infection Control

すべての職員が質の高い感染対策を実践し、 患者さんの療養環境を守る

感染管理認定看護師は、患者さんやご家族はもちろん、病院で働くすべての職員の感染防止へ向けた活動をしています。院内の感染兆候を把握するサーベイランスの実践や、職員の感染防止技術の向上を図り感染防止に努めています。新型コロナウイルス感染症が流行し、病院での感染対策はより厳重になりました。感染対策は一人が怠ることで破綻することもあります。すべての職員が質の高い感染対策を実践し、患者さんの療養環境を守ることを目指します。



9 皮膚・排泄ケア認定看護師

Wound, Ostomy and Continence Nursing

特定研修修了者として 医療と看護の両方の視点を持って活動

私の役割は皮膚・排泄ケア特定認定看護師として褥瘡などの創傷を持つ患者さんや人工肛門・膀胱を持つ患者さん、失禁管理を必要とする患者さんに専門的なケアを提供することです。患者さんに起こりうる、あらゆる創傷の予防策を講じるとともに、一日でも早く創傷が治癒するように医師・看護師・コメディカルとともにケアを提供しています。オストメイトが安心して生活できるよう、失禁で悩む患者さんの問題解決ができるように取り組んでいます。また特定研修修了者として医療と看護の両方の視点を持って活動しています。



看護部長あいさつ ～着任から1年を経て～

昨年2025年4月に看護部長に就任いたしました。

町田市で生まれ育った町田っ子で、市民の皆さんと同じく町田に愛着を持ち30年ほど前に町田市に戻り住みました。

町田市は、周囲を神奈川県に囲まれ、東京都の最南端に位置し、縦長な地形です。町田市民病院は、そんな縦長な町田市の中核病院として急性期医療を担い『地域から必要とされ、信頼、満足される病院』という理念の下、期待に応えるべく取り組んでおります。

看護部は、『一人ひとりの心に寄り添う看護』を理念に看護を提供しております。看護職員の一人ひとりが、患者さん一人ひとりを尊重し、丁寧に関わり、安心して入院生活が過ごせるようサポートいたします。

今回、紹介させていただきました認定看護師は、個々の分野のスペシャリストとしても活躍しております。より専門性の高い知識を持ち、医師と連携し、患者さんの状態に合わせたケアを行い、他の職員へも働きかけ、ケアの継続、質の向上に努めています。

看護職員は、知識と技術を持ち、寄り添う心で患者さん・ご家族を支えています。

地域に根差した病院として、情頼される看護部を看護職員と共に目指していきます。



看護部長 嵯峨 幸恵

市民公開講座

「令和の気管支ぜんそく」を開催しました

当院では、医療情報を発信し、市民の健康増進に寄与するとともに、市民の当院に対する信頼を高めることを目的に、身近な病気などを取り上げ医師がわかりやすく解説する市民公開講座を実施しています。

2026年1月31日(土)、2025年度5回目の市民公開講座を開催しました。

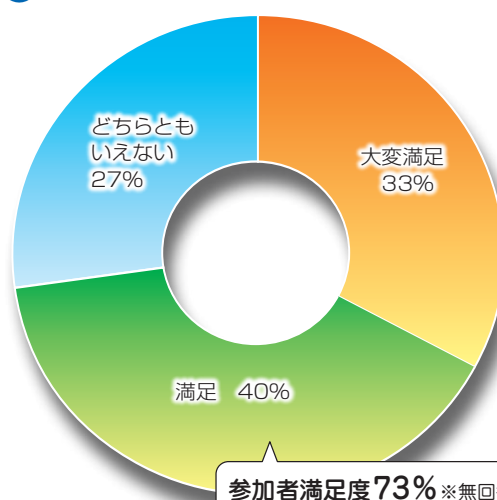


講座当日の様子

- ◆日 時：2026年1月31日(土)
14時00分～15時00分
(13時30分受付開始)
- ◆場 所：町田市民病院 南棟3階講義室
- ◆テーマ：令和の気管支ぜんそく
- ◆講 師：呼吸器内科医長・感染対策室副室長
数寄 泰介 医師

- ◆内 容：①気管支喘息とはどのような病気か
②気管支喘息の歴史
③進化した診断と治療

Q 講座の満足度を教えてください。



参加者満足度73% ※無回答除く

参加者のご意見（一部抜粋）

- 時代毎の喘息のとらえ方が面白かったです。
- 何が原因となっている喘息なのか知るのが大切だとわかりました。
- 基本的なことがよくわかった。
- 孫が喘息になりましたので非常に参考になりました。

Web市民公開講座「糖尿病の運動療法」動画公開中



動画サムネイル

血糖値を一定に保つために効果的な運動や、自宅で気軽にできる運動について、糖尿病の専門医が紹介する動画を、当院のYouTubeチャンネルで公開しています。

講師のアバターと創作した受講者役のキャラクターが対話をしながら解説を進めるため、親しみやすい雰囲気でご視聴いただけます。ぜひご覧ください。

【講師】糖尿病・内分泌内科部長
伊藤 聡 医師

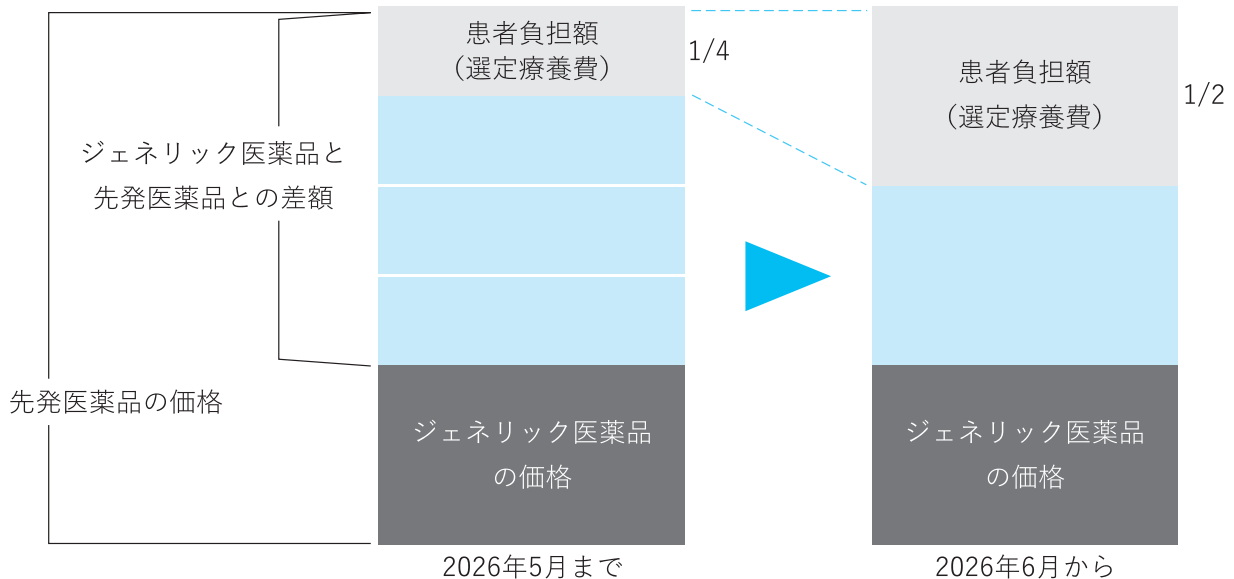
<https://youtu.be/HxhFWeHvDY4>



先発医薬品の自己負担について



患者さんが「自分の希望でジェネリック医薬品でなく先発医薬品を処方してほしい」と希望した場合、両者の薬価差額の4分の1を患者さん自身が自費で負担することになっていましたが、2026年6月から診療報酬制度が改定され、自費で負担する金額が、両者の薬価差額の2分の1に変更となりました。



この制度は、あくまで医療上の必要性がないにもかかわらず患者さんが希望して先発医薬品を処方した際のルールであり、例えば「医師や薬剤師が、医療上の必要性があると判断した場合」、「在庫状況によりジェネリック医薬品の処方できない場合」については、選定療養費など特別の費用は発生しません。

増大し続ける社会保障費（医療費）抑制のため、国が推し進めるジェネリック医薬品への切り替え推進について、当院におきましても積極的に取り組んでいます。ご理解、ご協力をお願いいたします。

【対象となるおくすり】

- ▶ 後発医薬品が初めて薬価基準に収載された日の属する月の翌月の初日から起算して5年を経過（バイオ医薬品を除く）
 - ▶ 後発医薬品が初めて薬価基準に収載された日の属する月の翌月の初日から起算して5年を経過しないもので、長期収載品の半数以上が後発医薬品であるもの
- ※バイオ医薬品：化学合成によって製造される従来の医薬品に対し、遺伝子組換え技術や細胞培養技術などにより、生物由来の成分や生物自体を利用して製造される医薬品。インスリン、HPVワクチンなど。



管理栄養士 おおすみ 夏野菜の万能だし

簡単レシピ

材料（4個分）

- きゅうり……1本
- ナス……1本
- みょうが……2個
- 大葉……5枚
- きざみ昆布…3g
- 醤油………大さじ3
- みりん……大さじ1
- レモン汁…大さじ1
- 砂糖………大さじ1/2

作り方

- ①野菜を刻む（大きさは好みで）。ナスはあくが出るので水にさらす。
 - ②切った野菜と昆布、調味料を混ぜ合わせ、味をなじませたら完成。
- * 保存の目安は冷蔵庫で3～4日ほど
 - * 白いご飯、そうめん、冷や奴など何にかけてもOK



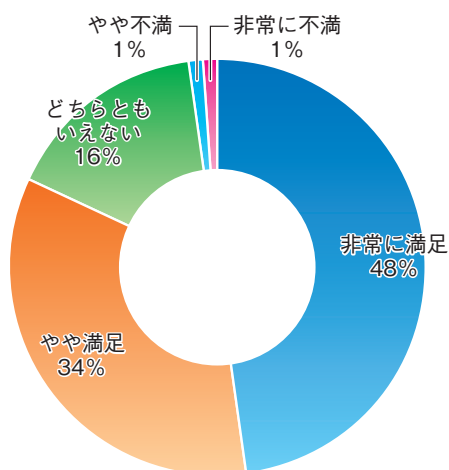
1食・
大さじ1程度
あたり
エネルギー量：
18kcal
食塩量：1.0g

一言コメント

- 山形県郷土料理の“だし”を参考に、夏場に食べやすいよう酸味強めにしました。
- 野菜類は発汗で失われがちなミネラルやカリウムが摂れます。
- 酸味（クエン酸）は体内に貯まった疲労物質“乳酸”の排出を促します。



「まちだみんなの青空レストラン」利用者アンケートを実施しました



Instagramをはじめました

日替わりメニューや写真をアップしています。

右記QRコードからご覧いただけますので、ぜひご覧ください。



@MACHIDA_AOZORA

レストランが再開したことについて、満足いただけている方が約82%と、好評をいただきました。また、感謝のお言葉も多くいただき、大変励みになりました。

一方で、「提供時間」「呼び出しのわかりやすさ」「味付け・盛り付け」などについて課題があることがわかったため、今後改善してまいります。

いただいたご意見をもとに、「単なる食事の場」ではなく「健康管理とリフレッシュの場」として、様々なニーズにお応えできるようなレストラン運営を目指します。

【自由記述による主なご意見まとめ】

1. 味付け・栄養バランス・品質へのご意見

病院内の施設として、より健康的で安定した品質の食事が求められています。

2. メニュー構成とボリュームへの要望

ターゲット層（特に女性職員や多忙な職員）のニーズに合わせた柔軟な設定が求められています。



編集・発行：町田市民病院
〒194-0023 東京都町田市旭町2-15-41
TEL：042-722-2230（代）
<https://machida-city-hospital-tokyo.jp/>